

ハローケア訪問看護ステーション桔梗  
居宅介護支援事業 運営規程

## 事業の目的

第1条 医療法人社団ハートランドが設置するハローケア訪問看護ステーション桔梗 居宅介護支援事業所（以下「事業所」という。）において実施する指定居宅介護支援事業（以下「事業」という。）の適切な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、事業所の介護支援専門員が要支援及び要介護状態にある者から相談に応じ、個々の解決すべき課題、その心身の状況や置かれている環境等に応じて、本人やその家族の意向等を踏まえ、指定居宅サービス、地域密着型サービスをはじめ、保健・医療・福祉サービス等を適切に利用出来るよう、居宅サービス計画の作成から各サービス事業者との連絡調整、その他便宜の提供といった居宅介護支援を行うことを目的とする。

## 運営の方針

第2条 介護支援専門員等は、利用者が要介護状態となった場合でも可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう支援する。

利用者の心身の状況、置かれている環境に応じ、利用者の選択に基づき保健医療サービス、福祉サービスが多様な事業者から、総合的、かつ、効率的に提供されるよう調整する。

## 事業所の名称等

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は次のとおりとする。

- (1) 名 称 ハローケア訪問看護ステーション桔梗
- (2) 所 在 地 三重県名張市西原町 2628 番地 1

## 職員の職種、員数及び職務内容

第4条 ハローケア訪問看護ステーション桔梗（以下「本所」という。）に勤務する職員の職種、員数及び勤務内容は次のとおりとする。

- (1) 管理者 1 名  
管理者は、従業員及管理及び業務の実施状況の把握、その他の管理を行う。
- (2) 介護支援専門員等 4 名（常勤兼務 1 名・常勤専従 1 名・非常勤専従 2 名）  
介護支援専門員等は利用者の状況に応じて増員する。

## 営業日及び営業時間

第5条 営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

- (1) 営業日 通常月曜日から金曜日とする。  
ただし、祝祭日及び年末年始（12月31日～1月3日）を除く。
- (2) 営業時間 午前8時30分～午後5時
- (3) 上記営業日、営業時間のほか、電話等により常時連絡が可能な体制とする。

## 事業の提供方法及び内容

第6条 事業の内容は、次のとおりとする。

- (1) 地域における要援護高齢者の心身の状況、家族の状況等の実態把握、介護ニーズの評価
- (2) 介護サービス計画・居宅支援サービス計画作成及び介護支援サービス。
- (3) 市町村よりの委託による訪問調査
- (4) 地域の要援護高齢者及びその家族の処遇台帳の整備
- (5) 保健福祉サービスの存在、利用方法等の情報提供、サービス利用の啓発
- (6) 介護相談
- (7) 訪問などによる介護方法などについて指導・助言
- (8) サービス利用の手続き代行、サービス利用にあたっての調整
- (9) 福祉用具の展示、紹介、選定、使用方法の相談・助言
- (10) 住宅改修の相談・助言
- (11) 要介護認定のための申請代行

## 指定居宅介護支援の提供方法及び内容

第7条 「指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準（平成11年厚生省令第38号）」第12条及び第13条に定める取り扱い方針を遵守するものとし、指定居宅介護支援の提供方法及び内容は次の通りとする。

- 1 利用者からの居宅サービス計画作成依頼等に対応する相談対応  
事業所内相談室、及び状況に応じ自宅訪問する。
- 2 課題分析の実施
  - ・ 課題分析の実施にあたっては、利用者の居宅を訪問し、利用者及びその家族に面して行う。
  - ・ 課題分析の実施にあたっては、利用者の生活全般について状態を十分把握し、利用者が自立した生活を営むことが出来るよう支援するうえで、解決すべき課題を把握する。
  - ・ 使用する課題分析票の種類はカナミックネットワークのシステムにて行う。
- 3 居宅サービス計画原案の作成  
利用者及びその家族の希望並びに利用者について把握された解決すべき課題に基づき、提供されるサービスの目標及びその達成時期、サービスを利用するうえでの留意点を盛り込んだ居宅サービス計画の原案を作成し、その種類、内容、利用料等について利用者またはその家族に対して説明し、文書により利用者の同意を得る。
- 4 サービス担当者会議等の実施  
居宅サービス計画原案に位置づけた指定居宅サービス等の担当者を招集した、サービス担当者会議の開催、担当者に対する照会等により、居宅サービス計画書原案の内容について、担当者から専門的見地の意見を求める。
- 5 居宅サービス計画の確定  
介護支援専門員は、居宅サービス計画に位置づけた指定居宅サービス等について、保険給付の対象になるか否かを確認したうえで、利用者・家族に説明を行い、居宅サービス計画書を利用者並びに各サービス事業者に交付する。
- 6 サービス実施状況の継続的な把握及び評価  
居宅サービス計画の作成後においても、利用者及び家族、指定居宅サービス事業者等との連絡を継続的に行うことにより、居宅サービス計画の実施状況や利用者についての解決すべき課題についての把握を行い、必要に応じて居宅サービス計画の変更、指定居宅サービス事業者等との連絡調整、その他の便宜の提供を行う。

## 通常の事業の実施範囲

第8条 名張市・伊賀市

## 利用料金等

第9条

- 1 要介護者及びその家族の意向により介護サービス計画・居宅支援サービス計画の策定又は介護支援サービスを行った場合の利用料の額は、厚生労働大臣が定める基準によるものとし、市町村より委託による訪問調査を行った場合の利用料の額は、市町村で定める額とする。
- 2 介護サービス計画・居宅支援サービス計画策定にかかる訪問に要した交通費の実費の支払いを利用者から受ける。なお、自動車を使用した場合、通常の事業実施地域を超えた地点から片道1kmあたり10円～30円を徴収する。
- 3 前項の費用の支払いを受ける場合には、利用者又はその家族に対し事前に文書で説明した上で、支払に同意する旨の文書に署名（記名押印）を受けることとする。

## 緊急時等における対応法

第10条

- 1 介護支援専門員は、指定居宅介護支援の提供を行っているときに利用者に病状の急変、その他緊急事態が生じたときは、速やかに主治医に連絡する等の措置を講じるとともに、管理者に報告する。また、主治医への連絡が困難な場合は、緊急搬送等の必要な措置を講じるものとする。
- 2 指定居宅介護支援の提供により事故が発生した場合は、利用者の所在する市町村、利用者の家族等に連絡するとともに、必要な措置を講じるものとする。
- 3 利用者に対する指定居宅介護支援の提供により賠償すべき事故が発生した場合であって、事業者の責めに帰する場合のものについては、損害賠償を速やかに行うものとする。

## 苦情処理

第11条

- 1 指定居宅介護支援の提供に掛かる利用者からの苦情に迅速かつ適切に対応するために必要な措置を講じるものとする。
- 2 事業所は、提供した指定居宅介護支援に関し、市町村や国保連合会が行う文書その他の物件の提出もしくは提示の求めまたは当該市町村の職員からの質問・照会に応じ、及び市町村が行う調査に協力するとともに、市町村から指導または助言を受けた場合は、当該指導または助言に従って必要な改善を行うものとする。

## 個人情報の保護

第12条

- 1 事業所は、利用者の個人情報について「個人情報の保護に関する法律」及び厚生労働省が策定した「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」を遵守し適切な取扱いに努めるものとする。
- 2 事業者が得た利用者の個人情報については、事業者での介護サービスの提供以外の目的では原則的に利用しないものとし、外部への情報提供については必要に応じて利用者またはその代理人の了解を得るものとする。

## ハラスメント対策

- 第13条 1 事業所は職場におけるハラスメント防止に取り組み、職員が働きやすい環境づくりを目指します。
- 2 利用者が事業所の職員に対して行う、暴言・暴力・嫌がらせ・誹謗中傷等の迷惑行為セクシャルハラスメントなどの行為を禁止します。

## 人権擁護・虐待防止

第14条 事業所は、利用者の人権の擁護、虐待の発生又はその再発を防止するため次の措置を講ずるものとする。

- ① 虐待防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。）を6ヶ月に1回開催するとともに、その結果について従業者に周知徹底を図る
- ② 虐待防止のための指針の整備
- ③ 従業者に対し虐待を防止するための定期的な研修の実施
- ④ 前3号に掲げる措置を適切に実施するための担当者の設置

## 業務継続計画の策定等

第15条 事業所は、感染症や非常時災害の発生等において、及び非常事態時の体制で早期の業務再開を図るための計画（以下「業務継続計画」という。）を策定し当該業務継続計画に従い必要な処置を講じる。

- ① 事業所は、従業者に対し、業務継続計画について周知するとともに、必要な研修及び訓練を定期的実施する。
- ② 事業所は、定期的に業務継続計画の見直しを行い、必要に応じて業務継続計画の変更を行う。

## 感染対策の実施

第16条 事業所において感染症が発生し、またはまん延しないように次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

- ① 事業所における感染症の予防及びまん延防止のための対策を検討する委員会をおおむね6ヶ月に1回開催するとともに、その結果を職員へ周知する。
- ② 事業所における感染症の予防及びまん延防止のための指針を整備する。
- ③ 事業所において、職員に対し感染症の予防及びまん延防止のための研修及びまん延防止のための堅守及び訓練を定期的実施する。

## 身体拘束

第17条 事業所は、当該利用者又は他の利用者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束その他利用者の行動を制限する行為（以下「身体的拘束等」という。）は行わない。やむを得ず身体拘束等を行う場合には、その態様及び時間、その際の利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録するものとする。

## その他運営に関する重要事項

- 第 18 条
- 1 本事業所は、従業者の資質向上のために必要な研修の機会を随時設けるものとし、また、業務の執行体制についても検証、整備する。
  - 2 従業者は、業務上知り得た利用者またはその家族の秘密を保持する。事業者ではなくなった後においても同様とする。
  - 3 事業所は、指定居宅介護支援に関する諸記録を整備し、その完結の日から最低 5 年間は保存するものとする。
  - 4 この規程に定める事項の外、運営に関する重要事項は法人と事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

## 付則

この規程は平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

この規程は令和 3 年 4 月 1 日から施行する

この規程は令和 6 年 4 月 1 日から施行する